

ACTION

アクション



※写真はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を使用しています。

REAR VIEW

リアビュー



足裏ディテール

DETAIL

ディテール

胸部ディテール

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。 ※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

- 肩部、脚部等：
ホワイト (50%)
+パープル (30%)
+ブラック (15%)
+インディブルー (5%)
- 腹部、トライ・ブレード等：
パープル (60%)
+インディブルー (30%)
+ブラック (10%)
- 関節、武器等：
ニュートラルグレー (90%)
+ブラック (10%)
- 胸部、腰部等：
ブラック (50%)
+ブルー (30%)
+パープル (20%)
- エングレービング部：
ホワイト (100%)
+ネービーブルー (少量)
- 頭部等：
モンザレッド (80%)
+ホワイト (20%)
+ニュートラルグレー (少量)
- モノアイカバー：
ブラック (100%)
- コックピットハッチ：
ホワイト (80%)
+ブラック (10%)
+ミディアムブルー (10%)
- ヒート・サーベル：
イエロー (60%) + ホワイト (20%)
+ オレンジ (20%)
- パーニア内部：
ブラウン (65%)
+ ホワイト (20%)
+ ブラック (15%)

AMX-009 DREISSEN (UNICORN Ver.) NEO ZEON MASS-PRODUCED MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : AMX-009
 TOTAL HEIGHT : 22.0m
 WEIGHT : 36.7t
 GENERATOR OUTPUT : 2,380kw
 MATERIAL : GUNDARIUM ALLOY
 ARMAMENTS :
 HEAT SABER
 GIANT BAZOOKA
 TRIPLE BEAM CANNON
 TRI BLADE
 BEAM TOMAHAWK
 BEAM LANCER



1/144 SCALE

HG **ガンダムユニコーン**
UNIVERSAL CENTURY MOBILE SUIT GUNDAM UNICORN

BANDAI 2011 MADE IN JAPAN ● 写真の完成品は塗装してあります。

0170120



トライ・ブレード

《ドライゼン》の代名詞ともいえる射出式の近接新兵器。収納状態から展開した3枚のブレードによる高速回転で攻撃を行う。その個性的な機構から、フレア弾をはじめとした攻撃用途以外の様々な使用法が編み出されている。



ビーム・トマホーク/ビーム・ランサー
開発当時の《ドライゼン》が近接戦闘に特化した設計であることを示すように、白兵戦用武器は斬撃用のビーム・トマホークと、刺突用に特化したビーム・ランサーが用意されていた。双方を繋ぎ合わせることで、トマホークのビーム刃出力を倍加させることが可能である。



SPEC

型式番号：AMX-009/全高：22.0m/本体重量：36.7t
ジェネレーター出力：2,380kw
装甲材質：ガンダリウム合金
武装：ヒート・サーベル/ジャイアント・バズ
3連装ビーム・キャノン/トライ・ブレード
ビーム・トマホーク/ビーム・ランサー

※この商品には、「HGUC ドライゼン(ユニコーンVer.)」が1セット入っています。
●写真はバンダイプラモデルアクションベース2(別売)を使用しています。

AMX-009 DREISSEN [UNICORN Ver.]

U.C.0088に勃発した「第一次ネオ・ジオン戦争」におけるネオ・ジオン軍では、人材、資材両面の不足によりモビルスーツ単機種での性能面に比重が置かれていた。同軍の汎用重産機は旧ジオン公国軍で運用実績を残したMS-09《ドム》の後継機案が採用されたが、めまぐるしく変化する戦況の中で設計変更が行われることとなり、当初の専用携行兵器を基とした装備案に代わり、極めて個性的な近接兵器を与えられて実戦に投入されることとなった。もはや本来の運用意図から大きく外れながらも、一定の戦果を残した重モビルスーツ、それがAMX-009《ドライゼン》である。その翌年、ネオ・ジオンの敗北により戦争は終結したが、その後もジオンの魂は色相を変えつつ宇宙世紀史にその名を刻み続けていた。—U.C.0096。本来資源衛星であった《バラオ》は、「シャアの再来」と噂されたフル・フロントルを首魁とする新たなネオ・ジオン残党軍の拠点として機能していた。そこには様々な過去の残存機体が時代を超えて等しく制式配備されているという不思議な光景が見られ、それらの全てには戦闘兵器らしからぬ「袖」が加えられていた。本機も袖をはじめとするエンブレミングと薄紫を基調とした再塗装が施され、《ドム》の運用思想に基づいた新兵装を設定されながらも、機体自体は規格統合をはじめとした一部小改修のみに終わっている。ガンダリウム合金による堅牢な装甲、過分ともいえる出力と推力を生来持ち合わせていた《ドライゼン》は、その後開発された主力重産機に引けを取らぬ基本性能の高さから、大幅な改修は不要であると判断されたためであった。時代が要求した「恐竜的」進化の極致にあった旧型の機体は、時代の事情によって化粧を施されながらも、その威容を誇り続けていたのである。



ジャイアント・バズ
大口徑の実体弾砲。「袖付き」の首魁、フル・フロントルが駆る専用機《シナンジュ》のバズーカをベースに、専用携行兵器として新規に開発が行われた。機構の一部を簡略化されているが、その威力は劣ることなく一撃で相手を沈める。



ヒート・サーベル
白兵戦用の実体剣。刃部分部分を白熱化させ、敵の装甲を斬撃によって溶断する。ジオン軍がビーム・サーベルを開発する以前に運用されていた旧式の近接兵器。シンプルな構造によるコストパフォーマンスの高さから《バラオ》配備時の準近接装備として設定された。



3連装ビーム・キャノン
前腕部に内装された本体ジェネレーター直結式のビーム兵器。《バラオ》配備時にはパワーサプライヤーの改善が図られており、高出力化に成功している。近距離で高速連射による圧倒的な制圧力を誇る。

ビーム・トマホーク/ビーム・ランサー
開発当時の《ドライゼン》が近接戦闘に特化した設計であることを示すように、白兵戦用武器は斬撃用のビーム・トマホークと、刺突用に特化したビーム・ランサーが用意されていた。双方を繋ぎ合わせることで、トマホークのビーム刃出力を倍加させることが可能である。



SPEC

型式番号：AMX-009/全高：22.0m/本体重量：36.7t
ジェネレーター出力：2,380kw
装甲材質：ガンダリウム合金
武装：ヒート・サーベル/ジャイアント・バズ
3連装ビーム・キャノン/トライ・ブレード
ビーム・トマホーク/ビーム・ランサー

※この商品には、「HGUC ドライゼン(ユニコーンVer.)」が1セット入っています。
●写真はバンダイプラモデルアクションベース2(別売)を使用しています。



AMX-009 ドライゼン (ユニコーンVer.)

ドライゼン(ユニコーンVer.)は「機動戦士ガンダムUC」に登場する重モビルスーツである。U.C.0096。スペースコロニー《インダストリアル7》を襲ったテロ事件を契機に、地球連邦軍とネオ・ジオン残党軍「袖付き」による、宇宙世紀を揺るがすとされる「ラプラスの箱」を巡る戦いの火蓋が切られて落とされた。廃れた資源衛星《バラオ》の地表を飛行する純白の機体、《ユニコーンガンダム》。「袖付き」の拠点とされる日わく付きの場所に「袖」が加えられていないモビルスーツが機動しているということは、今この時が平時でないことを明確に現していた。ふと、ざわわとした圧迫感を感知した《ユニコーンガンダム》の上方に、大型の実体弾が飛来する。咄嗟に回避したものの、体勢を立て直すのも容易ではない正確な射撃が次々と襲いかかる。攻撃が一瞬止み、爆風が晴れた先によく見える「袖」の装飾。そこには巨木のような携行兵器、ジャイアント・バズを構えた《ドライゼン》の姿があった。あくまで先程の攻撃は前座だと言わんばかりに、撃ち尽くしたバズーカを躊躇なく宙空に投げ捨てれば、隆起した山々のような背に備えられたトライ・ブレードを射出し、前腕部に仕込まれた3連装ビーム・キャノンを猛獣の口の如く展開させ、標的へと構える。人型を模した戦闘兵器にあって、一際美しいフォルムをもった重厚な機体が、自身に備えられた全ての手段をよどみなく用いて猛攻をかけるその様は、歓迎されぬ来客を排除する「バラオの番人」と表現するのが一番相応しいといえた。—互いが望まずとも、それぞれの事情の元、それぞれが守るべきものに殉じて戦いは生み出される。《ドライゼン》のパイロットは全てを「飲み下し」、3連装ビーム・キャノンから放たれる高出力のビーム弾を《ユニコーンガンダム》へと殺到させた……!!

●写真はイメージです。

HGUC この商品には、「HGUC ドライゼン(ユニコーンVer.)」が1セット入っています。 **ドライゼン(ユニコーンVer.)等のネオ・ジオン残党軍MSを確認せよ!!**

RMS-106 ハイザック ロット・ドーム等各種センサーを強化した偵察用MS

HGUC No.096 アイザック 旧ジオンMS MS-09 ドムの設計思想を盛り込んで開発された汎用重産型MS

HGUC No.124 ドライゼン (ユニコーンVer.)

HGUC No.091 ギラ・ドーガ 第二次ネオ・ジオン戦争(シャアの反乱)時のネオ・ジオン軍主力重産機。

HGUC No.099 クシャトリヤ NZ-000 クイン・マンサと同等の火力を装備する。サイコミュ搭載型MS。

HGUC No.063 ガザC 第一次ネオ・ジオン戦争時にアクシズで開発された重産型可変MS。

※この商品には、「HGUC ドライゼン(ユニコーンVer.)」が1セット入っています。
●写真はバンダイプラモデルアクションベース2(別売)を使用しています。

警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。



- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意 (ちゅうい)

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。
- 先端が突っている箇所がありますので、注意してください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。
- 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

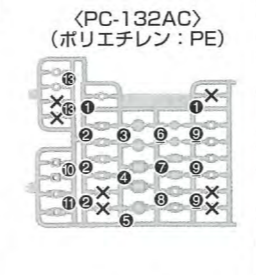
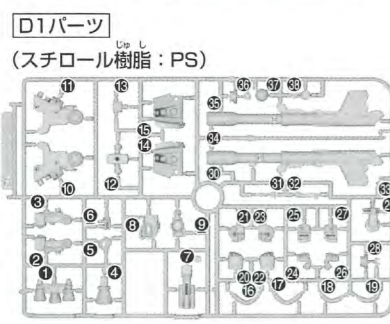
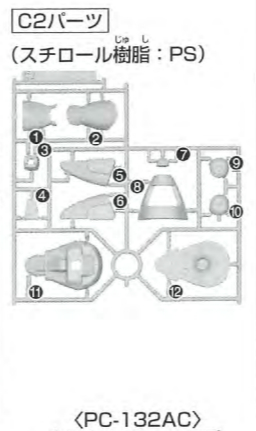
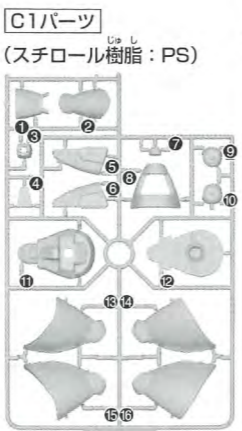
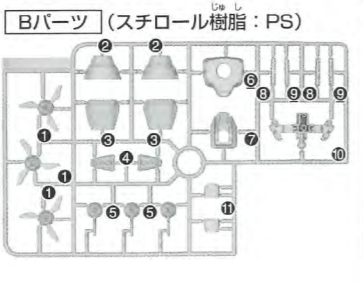
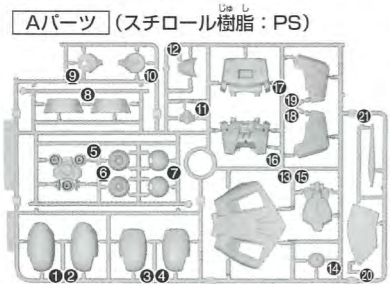
《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

 ・線に沿って切ります	 ・シールの番号	 ・パーツの番号	 ・反対側に取り付けるパーツ	 ・両側に同じパーツを取り付ける	 ・向きに注意して取り付ける	 ・ヒスの塗めすぎに注意
 ・切り取る場所	 ・部品を数値の個数作ります	 ・先に組み立てます	 ・後に組み立てます	 ・角度に合わせて回転させます	 ・どちらかを選んで取り付ける	 ・反対側も同じよう貼ります

パーツリスト

(X印は使用しないパーツです。)



※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

●シール………1

1 **x2** 2個作る

2

3

4

5 **x2** 2個作る

6 **x2** 2個作る

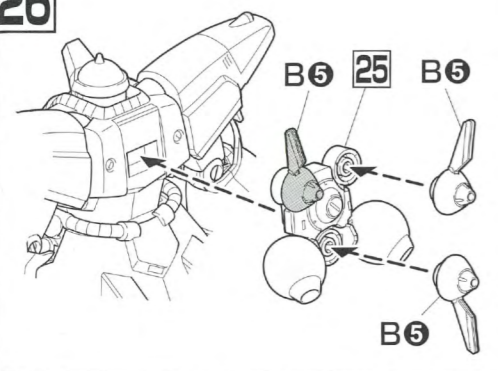
7 **x2** 2個作る

8 **x2** 2個作る

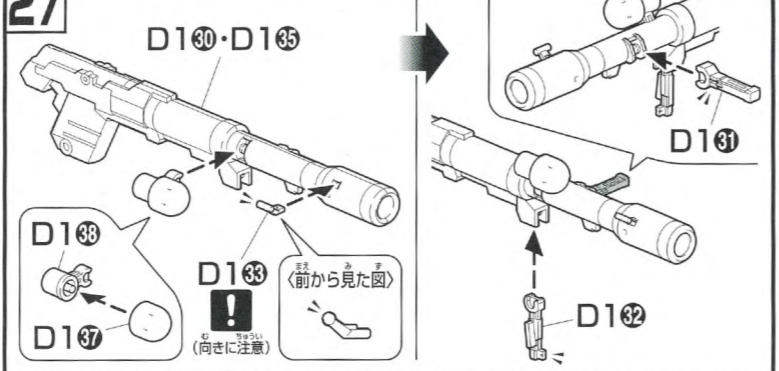
9

10

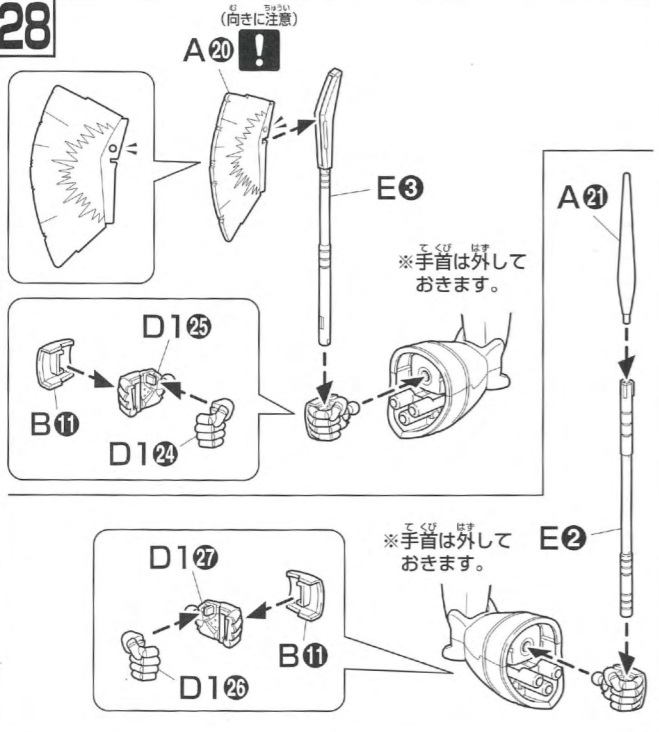
26



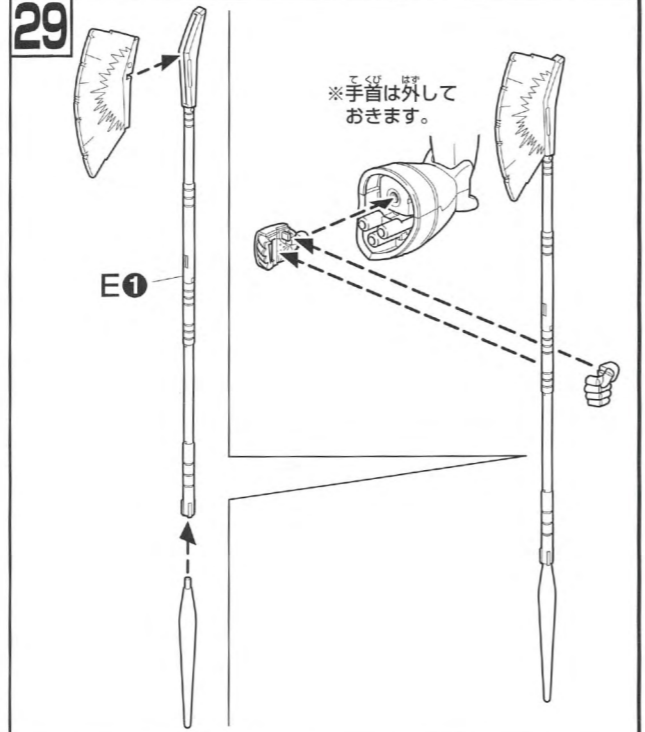
27



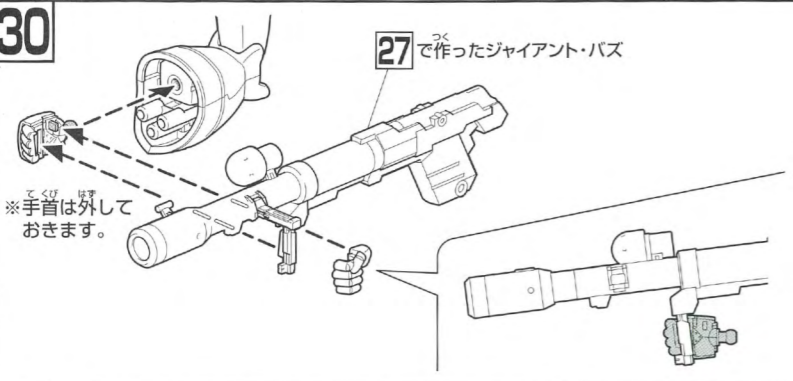
28



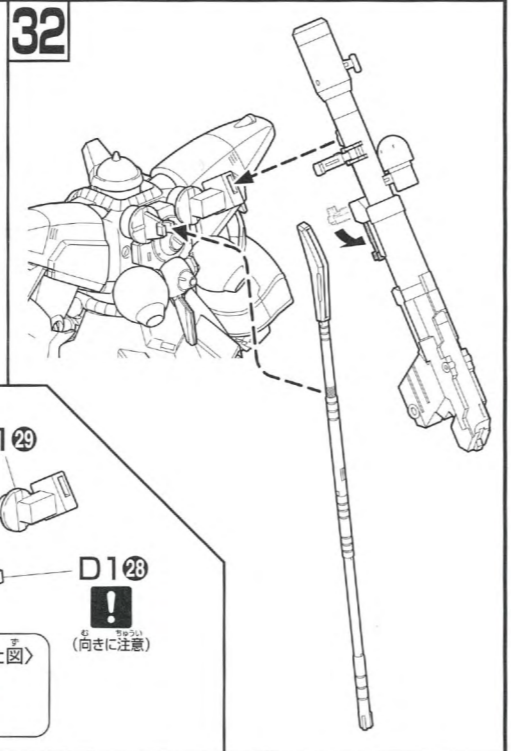
29



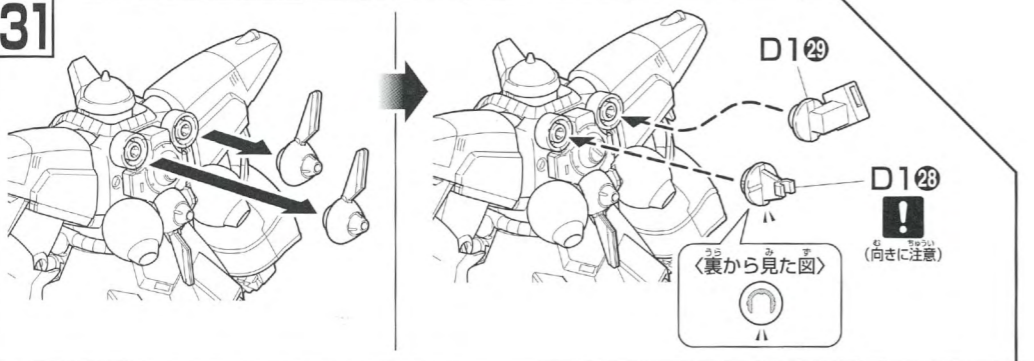
30



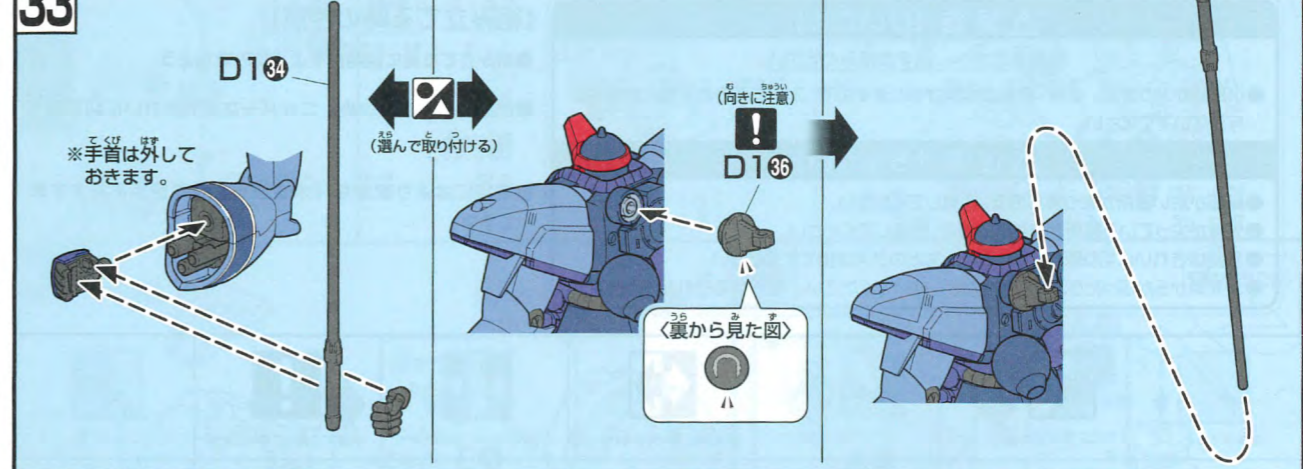
32



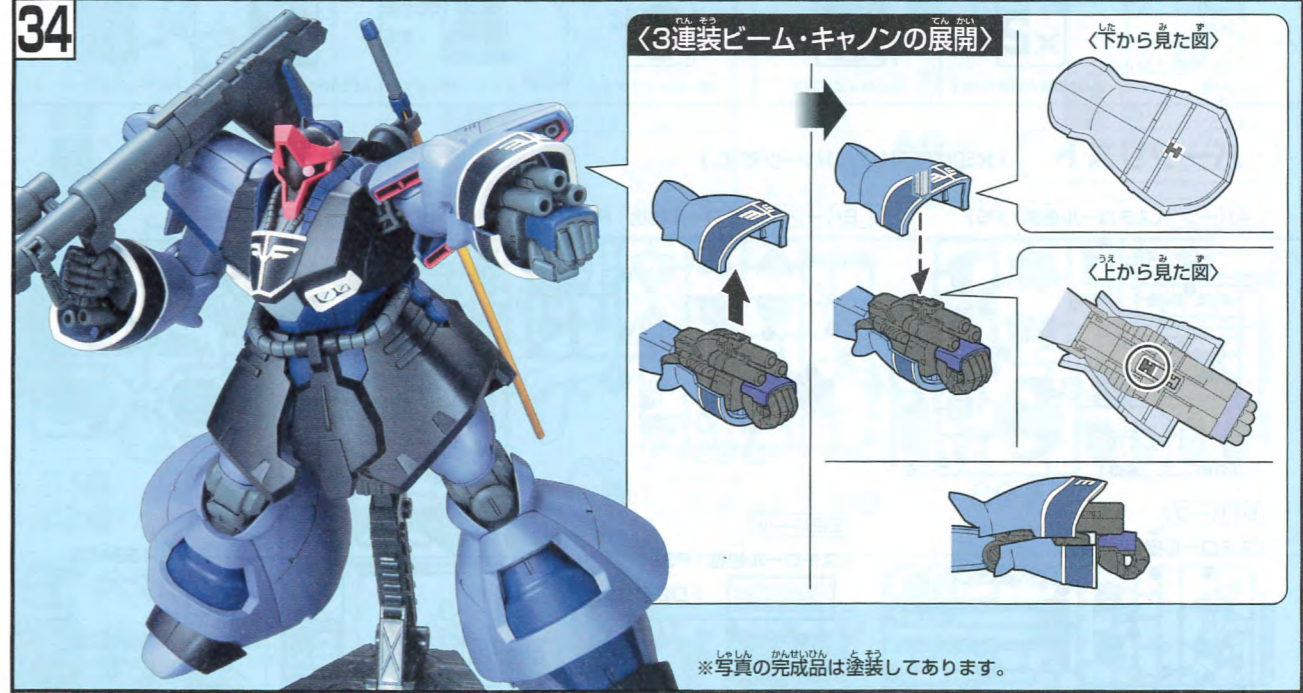
31



33



34



35



36

